ONKYO®



MS-500

スピーカーシステム

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、正しくお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られる所に保証書とともに大切に保管してください。

箱をあけたら、まず

機能と接続

その他

主な特長

■ **MDF木製キャビネット**
硬度が高く、美しく心地よい響きを表現します。

■ **バランスドーム型ツィーター**
独自技術により90kHzの高域再生を実現、微妙なニュアンスまで表現します。

■ **Sラインエッジ**
振動部の終端反射をコントロールし、音楽情報の伝達を高めます。

■ **9cmOMFコーン**
軽量・高剛性・高内部ロスを実現、再現性を高めます。

■ **スラント型キャビネット**
指向性を高める10度フロントバッフル角度により最適なリスニングポジションを確保、さらに前後上下非並行面になったキャビネット形状により定在波を抑え入力信号を忠実に再現します。

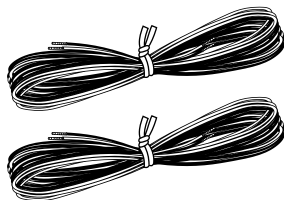
■ **マルチアームダンパー**
微小入力の応答性に優れ、不要な放射音を軽減する独自形状。

■ **プッシュ式スピーカーターミナル**

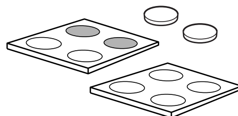
付属品を確認する

- ご使用の前に次の付属品がそろっていることをお確かめください。（　）内の数字は数量を表しています。
- カタログおよび包装箱などに表示されている型名の最後のアルファベットは、製品の色を表す記号です。色は異なっても操作方法や仕様は同じです。

- **スピーカーコード（1m×2本）**



- **コルクスペーサー（4個×2枚）**



- **取扱説明書（本書1）**
- **保証書（1）**

オーディオ機器の正しい使いかた

オーディオ機器を安全にお使いいただくため、ご使用の前に必ずお読みください

絵表示について

この「取扱説明書」および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

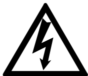


この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

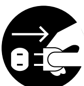
絵表示の例



△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。



⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。





●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
図の中や近傍に具体的な指示内容（左上図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



■ 故障したままの使用はしない


電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐにアンプの電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が出なくなるのを確認して、販売店に修理を依頼してください。

■ 改造しない


分解禁止

● 本機を分解、改造しないでください。火災・感電の原因となります。

■ 水のかかるところに置かない


水場での使用禁止

● 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。


水ぬれ禁止

● 本機は屋内専用に設計されています。ぬらさないようにご注意ください。内部に水が入ると、火災・感電の原因となります。

■ 水の入った容器を置かない



● 本機の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれて中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■ 中に物を入れない



● 本機の内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。

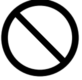
■ 中に水や異物が入ったら


電源プラグをコンセントから抜いてください

● 万一、本機の内部に水や異物が入った場合は、すぐにアンプの電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。

⚠注意

■ 設置上の注意





- ぐらついた台の上や傾いた所、厚手のじゅうたんの上など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。
- 移動させる場合は、サランネットやスピーカーユニットに手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。
- 移動させる場合は、アンプの電源スイッチを切り、スピーカーコードを外してから行ってください。落下や転倒など、思わぬ事故の原因となります。

■ スピーカーコードは安全な場所へ



- スピーカーコードの配線された位置によっては、つまずいたり引っかかったりして、落下や転倒など事故の原因となることがあります。スピーカースタンドを使用した場合や高い所に置いた場合、壁に掛けた場合など、特にご注意ください。

■ 次のような場所に置かない



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

■ 接続について



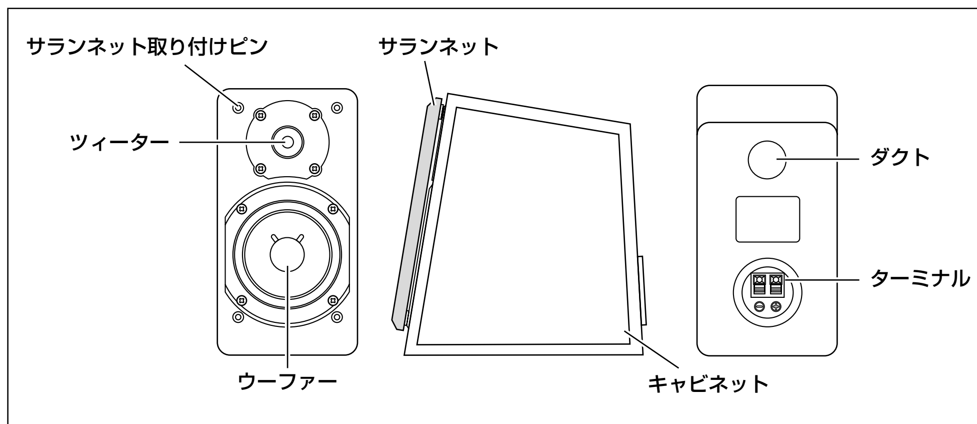
- 本機を他のオーディオ機器やテレビ等の機器に接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源スイッチを切り、説明に従って接続してください。また接続はスピーカー専用のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると、発熱し、やけどの原因となることがあります。

■ 使用上の注意



- 電源を入れる前にはアンプの音量（ボリューム）を最小にしてください。過大入力でスピーカーを破損したり、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
- 音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。
- 長時間音がひずんだ状態で使わないでください。スピーカーなどが発熱し、火災の原因となることがあります。
- 本機に乗ったり、ぶら下がったりしないでください。特にお子様にはご注意ください。倒れたり、こわれたりしてけがの原因となることがあります。
- キャッシュカード、フロッピーディスクなど、磁気を利用した製品を近づけないでください。スピーカーの磁気の影響で使えなくなったり、データが消失することがあります。

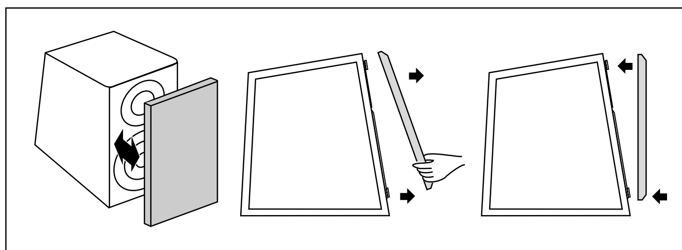
各部の名称と働き



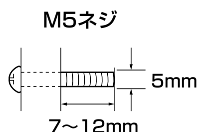
■ **サランネットの着脱**

このスピーカーシステムは前面のサランネットを取り外すことができます。サランネットを付けたり外したりするときは、次のように行ってください。

1. サランネットの下側を両手で持ち、手前に軽く引っ張り、サランネットの下側を外します。
2. 同じようにサランネットの上側を手前に引っ張ると、サランネットは本体から外れます。
3. 取り付けるときは、サランネットの四隅にあるホルダーを本体のサランネット取り付けピンに合わせて押し込みます。



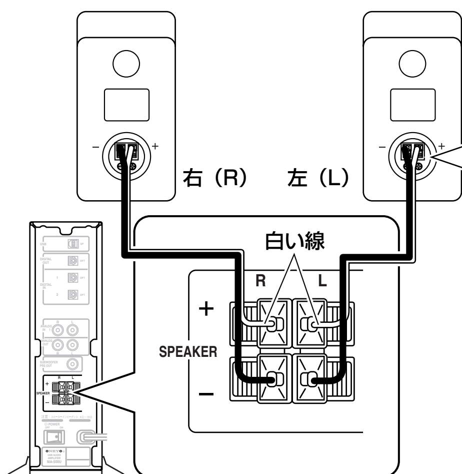
■ **本機の底面のネジ穴について**



このスピーカーシステムには、市販されているスタンドや金具を使用できるように、底面にはピッチ60mmでM5用ネジ穴が2個設けてあります。取り付け方法、強度については、ご使用になるスタンドや金具の説明書をご覧ください。
スタンドや金具をご使用になるときは、ネジ長に注意してください。有効ネジ長が7～12mmのものをご使用ください。

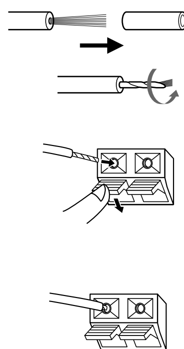
接続

- 本機とアンプを接続するときは、アンプのボリュームは出力最小にし、電源プラグを抜いた状態で行ってください。
- 本機の定格インピーダンスは4Ωです。接続するアンプはそれに適したものをご使用ください。
- 本機裏面の入力端子とアンプの出力端子を、付属のスピーカーコードで次の図のように接続してください。アンプ側の接続については、アンプの取扱説明書をご覧ください。
- 右側に設置するスピーカーは、アンプのスピーカー出力端子のR（右）に、左側に設置するスピーカーは、L（左）に接続してください。



1. スピーカーコードのビニールカバーの先を外します。
2. しん線をよじります。
3. スピーカー端子のレバーを押しながらコードの先端を奥までしっかりと差し込みます。

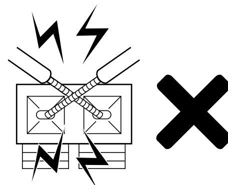
   指を離すとレバーが戻ります。
4. スピーカーコードを軽く引っ張ってみて確実に接続されているかどうか確認してください。



オンキヨー製MA-500Uとの接続例

ご注意

- スピーカーコードの+、−がショート（接触）していないか十分に確認してください。ショートさせるとアンプが故障する場合があります。
- スピーカーコードの+、−（極性）、L（左）、R（右）を間違えないでください。極性を間違えると、音声が不自然になります。
- 本機のツィーターには強力な磁石を採用していますので、ドライバーや鉄等の磁性体を近づけないでください。吸い付けられてけがをしたり、振動板が破損する原因となります。



取り扱い上の注意

■ 特殊な記号についてのご注意

本機は通常の音楽再生には表示の許容入力に十分耐えますが、次のような特殊な信号が加えられますと、最大許容入力以下でも過電流による焼損断線事故の恐れがありますのでご注意ください。

① FMチューナーが同調していないときのノイズ

② テープレコーダーを早送りしたときの音

③ 発信器や電子楽器等の高い周波数成分の音

④ アンプが発振しているとき

⑤ オーディオチェック用CDなどの特殊な信号音

⑥ ピンコードなど､接続端子の抜き差し時のショック音

⑦ マイク使用時のハウリング音

■ ツィーターについて

ツィーターの振動板には非常にデリケートな材料が使用されています。物があたったり、手で触れると破損する恐れがありますので、取り扱いには十分注意してください。

■ 設置場所について

本機のキャビネットは温度や湿度の極端に高いところ、低いところは好ましくありません。
次のような場所への設置は避けてください。

1. 直射日光のあたるところ。

2. 冷暖房機具の近く。

3. 浴室や台所の近くなど、湿気の多いところ。

■ お手入れについて

キャビネットは時々シリコンクロス、または柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた液に柔らかい布を浸し、固く絞って汚れをふき取ったあと、乾いた布で仕上げをしてください。硬い布やシンナー、アルコールなど揮発性のものなどでふきますと傷がついたり、文字が消えたり、変色したりすることがありますから、ご使用にならないでください。化学ぞうきんなどをお使いになる場合は、それに添付の注意書きなどをお読みください。サランネットにほこりがついたときは、掃除機で吸い取るか、ブラシをかけると良くほこりを取ることができます。

■ カラーテレビやパソコンとの近接使用について

カラーテレビやパソコンに使用されているブラウン管は、地磁気の影響さえ受けるほどデリケートなものですので、普通のスピーカーシステムを近づけて使用すると、画面に色むらやひずみが発生します。本機は（社）電子情報技術産業協会（JEITA）（旧（社）日本電子機械工業会（EIAJ））の技術基準に適合した防磁設計を施していますので、テレビ等との近接使用が可能となっています。ただし、設置のしかたによっては色むらが生じる場合があります。その場合は一度テレビの電源を切り、15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能によって、画面への影響が改善されます。その後も色むらが残るような場合は、スピーカーをテレビから離してください。また、近くに磁石など磁気を発生するものが置かれていますと、本機との相互作用により、テレビに色むらが発生する場合がありますので設置にご注意ください。



テレビなどの近くに置く場合、テレビから出ている電磁波の影響でアンプの電源を切っていてもスピーカーが雑音を発生することがあります。この雑音が気になる場合は、スピーカーをテレビからさらに離してご使用ください。

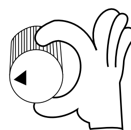
主な仕様

形式：	2ウェイバスレフ型
定格インピーダンス：	4Ω
最大入力：	40W
定格感度レベル：	83dB/W/m
定格周波数範囲：	80Hz～90kHz
クロスオーバー周波数：	10kHz
キャビネット内容積：	2.4ℓ
使用スピーカー	ウーファー： 9cm　OMFコーンウーファー ツィーター： 2cm　バランスドームツィーター
外形寸法：	110（W）×210（H）×200（D）mm （サランネット、突起部含む）
質量：	各1.5kg
その他：	防磁設計（EIAJ）

※仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

ステレオ、音のエチケット

楽しい音楽も、時間と場所によっては気になるものです。隣近所への配慮を十分にしましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。



修理について

■ 保証書

この製品には保証書を別途添付していますので、お買い上げの際にお受け取りください。
所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

■ 調子が悪いときは

意外なミスが故障と思われています。
この取扱説明書をもう一度よくお読みいただき、お調べください。本機以外の原因も考えられます。ご使用の他のオーディオ製品もあわせてお調べください。それでもなお異常のあるときは、修理をご依頼ください。

■ 保証期間中の修理は

万一、故障や異常が生じたときは商品と保証書をご持参ご提示のうえ、お買い上げの販売店または、当社サービスステーションにご依頼ください。
詳細は保証書をご覧ください。

■ 修理を依頼されるときは

「おところ」「お名前」「電話番号」「製品名（MS-500）」「故障または異常の内容」をできるだけ詳しく、お買い上げ店または当社サービスステーションまでご連絡ください。

■ 保証期間経過後の修理は

お買い上げ店または当社サービスステーションにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社では本機の補修用性能部品を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この期間は経済産業省の指導によるものです。性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。保有期間経過後でも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店または当社サービスステーションにご相談ください。

オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内

オンキヨー製品についてのご購入相談はお近くの販売店へ、修理については、お買い求めの販売店へご依頼ください。
万一お困りの場合には、下記の窓口へご相談くださるようお願いいたします。

お　客　様 ご相談窓口	カスタマーセンター　受付　9:30～17:30　（土日祝、弊社休日除く） ■カタログのご請求、製品についてのご相談 ＊e-mail：ホームシアター/オーディオ製品→customer@onkyo.co.jp マルチメディア製品　→mmcadmin@onkyo.co.jp ＊TEL：ナビダイヤル0570-01-8111（全国どこからでも市内料金で通話いただけます） または072-831-8111（携帯電話、PHSから）へどうぞ。 ＊FAX：072-831-8124　〒572-8540　大阪府寝屋川市日新町2-1

オンキヨー製品情報、ユーザー登録ホームページへ→http://www.onkyo.co.jp

快適なオーディオライフをお手伝い。ネットショップへ→http://www.e-onkyo.com

修理窓口　修理のご依頼は、取扱説明書をよくご確認のうえご依頼ください。
転居されたり、贈物でいただいたものの故障でお困りの場合は、下記へご相談ください。

北海道地区
札幌サービスステーション
TEL 011-747-6612　FAX 011-747-6619
〒001-0028　札幌市北区北28条西5-1-28
トーシン北28条ビル

青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島地区
仙台サービスステーション
TEL 022-297-0571　FAX 022-257-7330
〒984-0051　仙台市若林区新寺4-9-5
第二丸昌ビル 1F

茨城・栃木地区
宇都宮サービスステーション
TEL 028-634-4307　FAX 028-634-4308
〒320-0831　栃木県宇都宮市新町2-7-7

群馬・埼玉・新潟地区
大宮サービスステーション
TEL 048-651-8612　FAX 048-651-9137
〒330-0034　埼玉県さいたま市土呂町2-29-2
高安ビル 1F

千葉・東京（23区）地区
東京サービスセンター
TEL 03-3861-8121　FAX 03-3861-8124
〒111-0054　東京都台東区鳥越1-2-3
ハマスエビル

東京（23区を除く）・山梨・長野地区
八王子サービスステーション
TEL 0426-32-8030　FAX 0426-36-9312
〒192-0914　東京都八王子市片倉町358番地

神奈川地区
横浜サービスステーション
TEL 045-322-9342　FAX 045-312-6603
〒220-0072　横浜市西区浅間町1-13
共益ビル5F

岐阜・静岡・愛知・三重地区
名古屋サービスステーション
TEL 052-772-1229　FAX 052-772-1331
〒465-0013　名古屋市名東区社口1丁目1001番

富山・石川・福井・滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山地区
大阪サービスセンター
TEL 06-6576-7620　FAX 06-6576-7604
〒552-0013　大阪市港区福崎2丁目1番地49号

鳥取・島根・岡山・広島・山口（下関を除く）地区
広島サービスステーション
TEL 082-262-3315　FAX 082-262-6571
〒732-0057　広島市東区二葉の里2-8-28

徳島・香川・愛媛・高知地区
高松サービスステーション
TEL 087-868-5662　FAX 087-868-5672
〒760-0079　高松市松縄町44-8　西原ビル1F

山口（下関）・福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄地区
福岡サービスステーション
TEL 092-418-1357　FAX 092-418-1358
〒812-0006　福岡市博多区上牟田3-8-19
みなみビル202

オンキヨーサービス認定店

静岡サービス認定店
TEL 0543-46-6502　FAX 0543-46-6502
〒424-0063　静岡県清水市能島171-15

北陸サービス認定店
TEL 0776-27-1868　FAX 0776-27-1768
〒910-0001　福井県福井市大願寺3-5-9

岡山サービス認定店
TEL 086-274-5840　FAX 086-274-5840
〒703-8271　岡山県岡山市円山13

熊本サービス認定店
TEL 096-364-1475　FAX 096-364-1475
〒862-0970　熊本県熊本市渡鹿7-15-18

沖縄サービス認定店
TEL 098-876-9195　FAX 098-876-9195
〒901-2104　沖縄県浦添市当山558番地の8
キャッスルサイド浦添102号

2001年12月現在
お客様相談窓口、修理窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがございますのでご了承ください。

G

ご購入されたときにご記入ください。
サービスを依頼されるときなどに、お役に立ちます。

ご購入年月日：　　　年　　月　　日

ご購入店名：

Tel.　　　(　　)

メモ：

ONKYO®

オンキヨー株式会社

本社　大阪府寝屋川市日新町2-1　〒572-8540



http://www.onkyo.co.jp/
http://www.wavio.net/

製品の故障や修理についてのお問い合わせ先：
お買い上げの販売店もしくは、「オンキヨーご相談窓口・修理窓口のご案内」記載の最寄りのサービスステーションへお申し出ください。

●東京サービスセンター　☎ 03(3861)8121　●大阪サービスセンター　☎ 06(6576)7620

SN 29343338

D0205-1